

今工会報

第43号

発行所

今工会事務局

☎557-0024

大阪市西成区出城 1-1-6

大阪府立今宮工科高等学校内

電話 06-6631-0055~7

編集発行人 吉田信夫



錦城台頭今宮

大正・昭和・平成・令和と歩み続けて100余年

分校・今宮職工学校・工業学校・工業高校・工科高校

「今工」の名を刻む

造家・印刷・電機・鑄工・仕上げ・木型・鍛造・精密機械

機械・電気・建築・印刷・グラフィック・総合学科・工科系大学進学専科・

理想や高き工学の・技術の腕を磨きつつ・知識の泉くみとりて

堅忍不拔向上と・我が日本の工業を・担うて・いざや・雄飛せん・

座学・実習・体育祭・文化祭・部活動・学校行事

切磋琢磨し・励まし合い・友情を深め・助け合い

懸命に頑張った今工時代

一人ひとりが築き上げた今工の歴史

「今工」の名は消えることなく永遠に

2021年今工会総会 ご案内

日時:10月30日〔土〕 10時30分開会 場所:今工体育館〔懇親会は無し〕

コロナ禍、昨年の理事会が中止となり、「今年の総会こそは」と意気込んでいました。しかしまだ変異ウイルスによって感染が拡大している状況でまだまだ安心できない状況です。役員会で検討した結果、総会だけを母校体育館で十分な感染対策を施し実施することと致しました。ご出席よろしくお願い致します。

総会后、実習棟の見学、資料室の見学を予定しています。

なお、緊急事態宣言や母校がコロナ感染で休校になるなどで中止をしなければならないこともあり得ます。今工会のホームページ又は母校の今工会事務局にお問い合わせ下さい。

挨拶

今工会会長 野田 昌洋



今工会の皆様、コロナ禍の中、お元気でお過ごしでしょうか。「ワクチン」もうお済になりましたか、若い方の多くはこれからだと思いますが、いずれにしても自分が感染しないことが、他の人への感染も防ぐことになるのではないのでしょうか。

コロナ禍で昨年の理事会は中止になりました。今年は、ワクチンの接種も進んでおり、感染対策をしっかりと行い、飲食の伴わない形で「今工体育館」での開催を予定しておりますのでどうか積極的にご参加下さい。久しぶりに母校に足を運んで下さり、実習棟、資料室もぜひご見学ください。

今は先が見えにくい時代ですが、足元をしっかり見て進む以外ありません。ともかくすべてについて前向きに対応することが、元気のもとです。「今」やるべきことを確実に積極的に取り組んでいくことが、未来を見つけることになると確信します。私にとって、今工の3年間は宝の時でした。それを糧に頑張っています。皆さんも、どうか頑張ってください。母校の発展と後輩の成長を支えて行きましょう。皆様のご健康とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

コロナ禍今工にも色々影響が

2020年、新型コロナウイルス感染症の脅威に本校もさらされました。20・21年と合わせて6回も休校になっています。その間にインターネットの整備などもあり大変慌ただしい状況でした。

学校の日常においても新しい生活様式に変わりました。マスク着用での授業・ソーシャルディスタンスの確保・食堂では衝立の設置や一方向に向いての食事などがあります。

生徒たちにおいてもストレスの多くかかる状態でもありましたが、就職・進学など自己実現に向かって真剣に取り組



ご挨拶

学校長 阿部 政之



今工会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、母校発展のため何かとご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私は昨年度末で淀川工科高等学校長を定年退職し、4月1日より今宮工科高等学校の第24代校長（再任用）として23年ぶりに母校に再着任しました阿部政之（機械科54年卒）です。

今工会は、母校での勤務の間、校内事務局で会計を担当し、70周年、80周年の周年事業に関わらせていただきました。今工から異動した後は、今工会報で同窓会情報を知るとともに、常任理事として時間の許す限り常任理事会・理事会・総会に出席し、今工会の状況について把握して参りました。

私が今日まで長きに渡り校長職を務めて来られたのも、今宮工業高等学校や今工会での諸先輩方に多くを学び成長を支援いただいたことと感謝の念に堪えません。

今宮工科高等学校に再着任できたことは何かのご縁と、微力ながら今工発展のため精一杯尽力させていただきます。どうかよろしく願いいたします。

母校のいま・その1

み結果を残しています。部活動では ～2020年～

○科学部：第18回高校生・高専生科学技術チャレンジ・文部科学大臣賞・今宮工科高校、大手前高校、春日丘高校の定時制3校の科学部の合同発表

○水泳部：第4回近畿高等学校選手権新人水泳競技大会出場

○陸上競技部：第53回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会・2年男子・棒高跳第5位

○軽音楽部：第44回全国高等学校総合文化祭2020こうち総文・大阪代表グループ名今宮ん∞新型コロナウイルスのためオンライン開催に変更

○放送部：第67回NHK全国放送コンテスト・創作ラジオドラマ部門・大阪大会優勝・全国大会は新型コロナウイルスのため中止

内装工事のITS工房設立

昭和39年建築科卒 中嶋 弘憲 氏



建築科を昭和39年に卒業。在学中、3年生になったとき大学進学を志しました。今工在学中の学業成績はパツとせず、卒業するのがやっとこさ。今でも付き合わせてもらっている親友のおかげで

無事卒業することができました。今工で将来に影響を受けることになる親友が2人も出来た事が大きな財産です。60年付き合っております。

大学入試に失敗し自分の進路に悩みました。1970年、内装工事業という専門工事業に進むことになり、ここで自身の将来に大きな転機を迎えました。この業界は指示されないと行動ができない事が多く、利益も他人依存が顕著な業界でした。

「金偏」から「食偏」に

昭和47年機械科卒業 鶴 啓之 氏

実父が毛布の原反を製造する零細工場を経営していたことから、今工を薦められ入学。

思い出は、製図の時間が一番楽しく、木型から作るベンチバイス製作が懐かしい。



卒業して新日本工機kkに就職、しかし23歳の時、「鶴」家に養子として入籍、名前が吉本から鶴に。「鶴家」KKの家業は、味噌醤油等の醸造家や食品メーカーに原料・調味料・機械類の販売をする食品商社で、ベクトルが「金偏」から「食偏」に。

仕事が醸造中心という特殊な仕事、義父の薦めもあり5年のギャップを乗り越え、東京農業大学の短期醸造科に入学、卒業。不安と希望が入り交じった心境が懐かしく思い出される。赴任先は福岡支店で、鹿児島まで出張することもあり、言葉や食文化の違いを肌で感じました。

体質改善に貢献したく、2000年一級建築士事務所 ITS 工房(株)を設立しました。現在代表取締役です。昨年20周年を迎えました。

【利は元にある】の理念のもと、専門工事業の数々の問題解決に取り組む為、事業の根幹を三つにまとめスタートしました。

- ①教育 ……内装特化の各種講座
- ②アウトソーシング ……積算代行
- ③業務効率化ソフト ……内装工事に特化した数々のソフト開発

③は大きな発展をし、千葉大との産学連携によって特許取得にいたりました。新築工事が減少傾向にある中、建物が存在する限り、内装工事は不滅です。

音・熱・機能・法令の変化に、更に研究し提案して企業と業界に貢献したいと念じております。



2006年社長に就任、10年勤めて現在は会長職に。一昨年無事令和と共に創業100周年を迎えました。念願の本社ビルも落成。14階建ての4階以上をマンションとし、収益を次世代に託すことも出来ました。義父からの「意志を継いでくれ」も娘婿に椿を繋げることで果たすことができました。本当にいろいろなことが思い出され、込み上げるものを感じます。コロナ禍で一変した業界ですが、初代曰く「狭くとも深く、小さくとも光ある存在たらん」を会社の理念とし、邁進あるのみと考えています。



55歳の時、「同窓会を」という声があり2009年幹事を引き受け、高津ガーデンで恩師の渡辺先生をお招きし、盛大に実施しました。今工の



友とは3年間同じクラスだったということもあり、会えば瞬時にあの頃に戻って繋がります。「出会いと繋がりを大切にしていきたいと思います。」

念願の企画業務で会社を設立

昭和34年機械科定時制卒 渡辺生児氏

定時制の4年間は、同じ境遇を持つ学友に助けられ、良い先生にも恵まれ、苦しかった時期を乗り越え人生の大きな自信になっています。

職業は卒業後、設備会社に入社、建築、生産、公害設備等、設計、工事管理と多くの経験をしましたが倒産。一部上場会社の設備部門に招かれ、大型設備、海外工事など吸収。以前から望んでいた企画業務をしたく独立、今までの知識と合わせたKKファシテック広洋を設立しました。現在は太陽光発電の設計施工も加わりますが、息子に社長職を譲りました



設立同時に異業種の人達と交わりたくロータリークラブに入会、会長職も経験。特に印象にあるのは、自分があこがれた海外青少年交換留学委員を5年携わり、多くの青年を送り出せた満足感です。

遊びの少ない高校の反動で、車で日本一周を目的としてB級ライセンス取得、スクーバーの資格、憧れていたヨットの操縦40年、沖縄航海もしました。、今も西宮に係留し、ゴルフも楽しみ。振り返れば楽しむために一生懸命に事業に精を出してきました。

これからも今工出身を生かして

今工3年間は、自由に過ごしておりました。

卒業後は、進学もせず遊んでいましたが、担任の吉田増治先生の勧めで、大阪府職員の追加募集に応募して合格。枚岡保健所、千里看護学院、農政課、住宅建設課、金融課、児童福祉課、児童館ビッグバンと勤務し、平成12年に大蔵省近畿財務局に出向し、定年退職、再任用を経て令和2年12月末に完全退職。現在初めて、雇用保険失業給付を申請中です。



環状線からの今工を懐かしく

昭和46年電気科卒 杉野 知秀 氏

1971年(S46年)B組林部教諭の元で卒業しました。今年で半世紀が過ぎることになりますが、今工時代のことは今でも頭をよぎります。

卒業時、鉄筋の教室棟が完成する直前でした。26号線と43号線の交差点側に今工会館とテニスコートがあり、当時では珍しい赤土のコートでした。3年間ソフトテニス部で汗を流し、充実した3年間を過ごすことができました。

卒業後は、学校には求人募集が来ていませんでしたが、故郷・広島に中国電力に就職しました。林部先生には大変ご尽力いただきました。

広島から大阪出張時には、用もないのに環状線に乗っては、今工の校舎を見て昔を懐かしく思いだしていました。

入社後電験3種、2種、エネルギー管理士、高圧電気工事士等の資格を取得。

69才の現在も関連企業の中国電力保安協会に籍をおいてい

ます。これも今工の永年の技術教育方針のおかげだと感謝しています。

今工、ありがとう!!!私の人生の基です。



私のマイブーム
「広島カープ応援に夢中」です

昭和49年機械科卒 鼻田 泰之 氏

住宅建設課は、課長や技師に今工出身者が多く、可愛がっていただきました。金融検査では、貸出金資産査定における債務者の実態把握に加工製品や内容が、理解でき査定に活かされました。また、大阪造幣局の通貨発行検査は、圧穿、圧縁、圧印、回収貨幣の鋳潰し等、今工での実習経験・知識が大いに役立ちました。これからの人生にも今工出身であることを活かしていきますので、宜しくお願いします。

技術者として生き・今は古楽面を

昭和25年電気科卒 藪中幸雄氏

満州事変の前年に生まれ。身体も弱く戦争ごっこは無理と、技術者の道を選び今工の門を。

部活は滑空部に入り、大和川でライダー訓練に参加、楽しい日々を送った。然し、戦争が激化、防空壕掘りや学徒動員を経験。敗戦後学校に戻ったが焼け跡の整理や瓦運び、大国小学校をかりての授業、ろくに勉強できず、病気になったこともあって新制高校含め7年間の今工生活を終えた。

一念発起して府立短大に進み、卒業して国家公務員試験に合格、電気通信省に就職、電電公社発足で電電マンとして従事、昭和57年電報電話局局長に、62年退職。古河電工に再就職し営業マンとして公私含め海外へも20回。

趣味として53年から妻と古楽面教室に通い、現在講師免許をもらっていた数人で「奈良伝統工芸」の火を消さじと頑張っています。

〔作られた古楽面、寄贈戴き資料室に展示しています〕



活動状況は
HP「奈良古楽面教室」で

電磁気から陶磁器へ

昭和55年電気科卒 裕敏明氏

電気科を卒業して早41年。思い出すのは体育祭に向け応援用の巨大絵を描いたことです。放課後に皆で製作したキングクリムゾンのレコードジャケット絵が観覧席に出現したときは感無量でした。

卒業後は楽器メーカーに就職し静岡県に転居しました。友人と離れ大阪を去るときは不安でしたが、33年間電子楽器に携わりました。

40代を過ぎたところから「50歳頃に人生の分岐点として別のことを始めよう」と考え、これまでの電磁気から陶磁器に畑を移し銀乃月窯を開

自動車部の思い出・今はおもちゃ病院

機械科昭和32年卒 山田昭氏

在学中は自動車部に所属しました。

2年生がいなく、2年になる前、3年生が「自動車部に関する11章」を書いてくれました。

素晴らしい先輩に恵まれました。その先輩の一人がその後母校の教師になられた中條先生です。今も保管しています（現物を資料室に寄贈戴きました）。



12月に免許を取得、1月冷え込む小雨交じりの日曜日、先輩と京都へドライブに行きました。

タクシーの払い下げ50CC自動三輪車、足元はすけすけで寒く、運転席と客室は別、会話はホースで、兎に角破天荒な初ドライブでした。

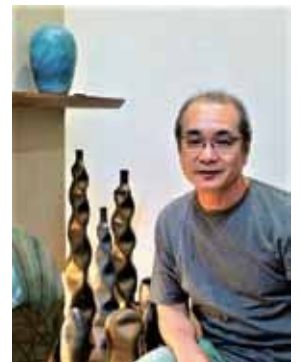
退職後、泉南おもちゃ病院のスタッフとしてボランティア活動をしています。毎週第4土曜日10時～2時30分。卒業生で電気(弱電)でやっていただけたら幸いです。

(090-3284-6760)



窯。作陶展を行って販売したりネット通販をしたりしています。生活は大変ですが人生を楽しんでいます。

〔下の直径330mmの大皿「波皿」を資料室に寄贈戴きました〕



銀乃月窯／ギャラリー銀乃月・代表 裕敏明
434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台2-10-6

TEL/FAX 053-443-7536

<https://ginno-tsuki.jimdofree.com>

2019年今工会総会

令和元年10月26日・道頓堀ホテル



オープニング高鷲・しなず地車・囃子



乾杯
高電第2 S21 卒
山本三七雄氏



建築 S27 卒
三村善英氏



定電気 S30 卒
澤村宗一氏



建築 S28 卒
堀江頼市氏



定電気 S44 卒
大河内正宣氏



建築 S34 卒
松浦 清氏



電気 S28 卒
外山禎彦氏



電気 S29 卒
田中正史氏



機械 S28 卒
杉村俊昭氏



電気 S49 卒
谷尾益明氏



H30 卒の参加者
野本 魁氏
那須燈明氏
平松永遠氏
鈴木愛香氏

体育・松村郁弘先生と
現在今工体育教師のH14 電
気卒・細江優輔氏（今工会
事務局長）



機械 S44 卒・堺伝統
工芸士・平川康弘氏
と同級生宮崎太一氏
（今工会常任理事）と
機械S35 卒・吉田信夫
先生（今工会副会長）

くじ引きに当たった方々・幸運？・・・スピーチ・・・

校歌斉唱

令和元年11月9日 文化祭

グラフィック・アーツ科2年のクラスと今工会のコラボ企画

「マシュマロ喫茶ギモーフと今工のあゆみ資料室公開」



入場者数（喫茶の利用）			
今工生	221	保護者	75
生徒友人	32	一般	55
教職員	43	卒業生	12
計438人			
約40名の卒業生が資料室見学			
印象に残った展示（アンケートより）			
校名と銘板の歴史	97		
戦時中の様子	75		
今工のあゆみ	56		
戦前の教科書	55		
実習作品	53		
天皇行幸の椅子	51		

令和2年度会計決算報告

【 一 般 会 計 】

1. 収入の部		
前年度繰越	17,335,324	
会費収入	2,108,000	
	全日制¥1,928,000 (241名×8,000円)	
	定時制¥180,000 (25名)	
銀行利息	0	決済口座のため利息なし
雑費収入	30,259	学級費残寄付等
合 計	19,473,583	
2. 支出の部		
庶 務 費	庶務費総計	212,182
	理事会・幹事会費	15,352
	卒業生記念品等	183,340
	慶弔費	13,490
	庶務部費	0
編 集 費	編集費総計	0
	会報発送諸費	0
	会報発行諸費(会報代含)	0
	編集部費	0
事 業 費	事業費総計	893,250
	支部・クラス会補助費	0
	広報関係費	0
	部活振興費	500,000
	事業部費	393,250
会 計 費	会計費総計	990
	会計監査費	0
	会計部費	990
事務局費	事務局費総計	269,354
	事務局費	200,080
	企画室費	30,652
	調査・通信・交通費	38,622
費 目 小 計		1,375,776
予 備 費		84,480
	懸垂幕(入学・卒業用)	
合 計		1,460,256
3. 差引残高	収入額	¥19,473,583
	支出額	¥ 1,460,256
	差引残高	¥18,013,327
	令和3年度へ繰り越し	



〔周年記念事業基金〕

1. 収入の部	
繰越金	2,746,096
銀行利息	24
合 計	2,746,120
2. 支出の部	
	0
合 計	0
3. 差引残高	2,746,120
	令和3年度へ繰り越し

〔部活動振興会援助基金〕

1. 収入の部	
繰越金	510,672
銀行利息	6
一般会計より	500,000
合 計	1,010,678
2. 支出の部	
水泳競技部 近畿大会出場援助	
	17,680
合 計	17,680
3. 差引残高	992,998
	令和3年度繰り越し

尚、令和元年の決算報告は、コロナで理事会を開くことが出来ませんでした。常任理事会に委託し、承認を得ましたのでご了承お願い申し上げます。

令和元年決算では、収入で基本勇二氏(建築27年卒)からの100万円の寄付がありました。ありがとうございました。

支出では編集費で会報42号の発行があり2,424,148円の支出がありました。

部活動振興会援助基金では放送部NHK全国高校放送コンテスト支援180,000
日本拳法部全国選手権大会支援318,220
陸上競技部近畿ユース大会支援17,000
機械工作部ロボカップ関西大会支援72,000
を支出しました。



全 日 制

令和2年3月卒業・幹事

定 時 制

MA 竹内 隆、田淵 弘将
MB 宇恵 一晴、京屋 楓
EA 井原 丈智、尾花 飛翔
EB 筒井 悠登、遠本 文翔
A 岩坂 裕貴、北川 潤一
G 榊井 大介、松本 拓海
進 田渕 大揮、森嶋 聖

3-1 林 卓実
南地 亮佑
3-2 佐藤 一瑠
丸野 勇輝
4 大槻 勇治



文化祭・平成、令和卒業生のつどい



令和3年3月卒業・幹事

全 日 制

MA 井上光貴、大山寛太
MB 宮原大和、橋詰将太
EA 北宗一郎、石原泰斗
EB 尾崎拓己、濱田康佑

定 時 制

3-1 名越 希更
白石 佳成
3-2 花崎 卓哉
4 北田 悟、宮脇 健一



A 川口永遠、菱岡完介
G 飯田千桜、古賀悠晟
進 井上幹太、田ノ上大翔

昭和24年機械科卒 兄玉雄二氏

同窓会やっています

学校の紹介で入社した会社で、海外に駐在した経験から、可能な限り早期リタイアを考えるようになり、定年後1年延長の61歳で会社員生活を終えました。今は在職中に覚えたパソコンを利用する技術を障がい者が就職活動に生かせるよう、ボランティアとして週に4~5回出かけて教えています。

還暦を迎え、同級生を探し始め2015年から8回の同窓会を開催し幹事をしています。令和2年度から開催日を【年・月・日】が揃う日に毎年同窓会をすることにし2回目の本年度は、コロナ緊急事態制限発令を受け、3か月延期していますが、オンライン同窓会も検討中です。

コロナの影響で休会中のジム通いの復活と昨年延期した、4回目のクルージングに出かける希望を持ちながら日々過ごしています。



今工二八会・乾薫の記 13号 昭和28年建築科卒同窓同志

担任の乾亮三先生がお亡くなりになった年から、先生を偲び、思い出とお互いの現状をまとめた「乾薫の記」を作ってこられました。

今年で13号目。「コロナ」で昨年に続き、各編集スタッフ



表紙・御堂筋
大阪ガスビル

今年は乾先生の13回忌、ご子息からどこかに発表した2種類の文章「男の料理(インパル作戦頃の兵食の思い出)」「夜来香(イエライシヤン)について」が届けられ、紙面を豊にされています。夜来香は先生が、戦友が持ち帰り増やしたものをもらい受け、それをさらに増やしたものを教え子に、今も何人かが育て花も咲かせておられます。「乾薫の記」は資料室に全て展示しています。(会報編集部)



表紙ウラ S8年御堂筋地下鉄工事



イエライシヤン



母校のいま・その2

2019 文化祭

